



日本セラプレイ協会

Japan Theraplay Alliance (国内 NPO 法人申請中)

The Theraplay® Institute 国際本部公認

春陽の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。このたび、日本セラプレイ協会を発足する運びとなりました。このニュースレターは、今まで日本で開催された初級講座や研修にご参加いただいた方々や、セラプレイをご支持、ご支援を下さる方々へ、日本でのセラプレイの歩みと協会が発足のご報告、そしてこれからの活動について、お知らせとご案内を兼ねたご挨拶とさせていただきます。

2014 年 Spring/Summer
ニュースレター 第 1 号



日本セラプレイ協会 ロゴマーク

日本セラプレイ協会 代表 高井 美和

日本セラプレイ協会 発足—2014 年 1 月 19 日

平成 26 年 1 月 19 日、セラプレイ国際本部の支部を目指す前身団体アライアンス (Alliance) として、日本セラプレイ協会を発足し致しました。またこれを機に Theraplay® の和訳を「セラプレイ」に統一致します。このたびの団体設立にあたり、多くの方のご理解と温かいご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

協会発足協議は、日本のセラプレイプロモーターとして尽力された日本セラプレイ研究会会長及びセラピストを目指す初級講座修了者 12 名と高井が参加し、はじめに、日本でのアライアンス発足について、2013 年末シカゴ国際本部代表及びトレーニング アドバイザーらとの協議の結果、日本での団体設立がセラプレイの有資格者によりなされることで承認されたとの報告があり (高井)、続いて法人化を目指す意義、団体の形式および運営についての話し合いがもたれました。そして参加者全員の賛同を得て、「日本セラプレイ協会」が発足し、3 月 19 日に、特定非営利法人の設立申請書を東京都に提出いたしました。NPO 法人に向けた日本セラプレイ協会発足会は、2014 年 4 月 20 日です。

「だいすきがつながっている」 セラプレイを経験した子どもが、セラプレイを表現してくれた言葉です。

私のセラプレイの学びと実践は、10 年目を迎えました。その節目の年にこうして日本でご挨拶ができるのはこれまでの皆さまとの出会い、そして皆さまの「セラプレイが素晴らしい！大切にしたい！」という熱い想いに励まされてきたからこそ強く思います。セラプレイの力を発揮できる場所を作って下さった先生方や、真摯にご協力いただいている方々に改めて心より御礼申し上げます。

現在、日本全国に広がりつつあるセラプレイが安全かつ効果のあるひとつの方法として、日本で発展するためには、団体として専門家同士が協力していく事が必要不可欠です。日本の保育・教育・福祉・心理の現場に携わる専門家が、セラプレイの精神で「遊び」を通して子どもの真のニーズに気づき、共に学ぶとともに、日本の情緒や心性に適したセラプレイの形を発展させていくため、日本セラプレイ協会はここに発足致しました。セラプレイに関わる全ての方が、セラプレイを通して互いに信頼しあい、安全に行うための体制を整えることが協会の最大の役割だと思っています。

少し先にセラプレイを始めた者！ということで、協会としてはじめの一步を踏み出す事になりましたが、法人設立に関しては初めての事ばかりです。これからも、協会設立にも 4 次元をモットーにチャレンジして参ります。今後とも、積極的なご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

THE
Theraplay

INSTITUTE 国際本部 (The Theraplay Institute) よりメッセージ

We love and admire our Japanese colleagues for doing such important work on behalf of children. All children deserve to have a Theraplay relationship. That is why we are so grateful and excited that The Theraplay Japan Alliance is spreading like flowers in springtime! Japanese families need and deserve the love and understanding that Theraplay can bring into their lives.

日本の子どもたちのためにこの大切な仕事をしている同僚に親愛の情と敬意を表します。すべての子どもが、セラプレイの関係性を必要としています。私たちは、日本セラプレイアライアンスが、春に花咲くように広がっていく事を嬉しく思い心を躍らせています。セラプレイを通して関係性の中で育まれる愛と相互理解が日本の家族にももたらされますように。

Executive Director **Gayle Christensen**/Training Advisor **Sandra Lindaman**/Training Director **Dafna Lender**

セラプレイとは… 愛着（アタッチメント）、自尊心（セルフ エスティーム）、他者への信頼を高め、喜びに満ちた関わりを促進し、向上させるために考案された子どもと家族のための心理療法・遊戯療法（プレイセラピー）の一つです。それは親子間の自然なやりとりにもみられる、健やかで遊び心あふれる相互作用を基本に

しており、身体的でまた直接的な関わりのある楽しいものです。セラプレイにおける、相互作用は乳幼児期の親子で自然に育まれる、楽しく健康な親子のやりとりから抽出された4つの柱、構造（Structure）関わり（Engagement）養育（Nurture）挑戦（Challenge）に焦点を当てています。セラプレイのセッションでは、子どもと親、あるいは養育者との活動的で情緒的なつながりを心地よく深める事を目標に行われます。その結果、子どもは自分自身がかけがえのない愛されるべき存在だという事に気づき、さらには他者とも豊かな関係を築いていこうとする考え方が芽生えてくるのです。（セラプレイの）セッションでは、セラプレイ セラピストのガイドのもとで、親と子がわくわくするような楽しい遊び、その子どもの発達に即した挑戦、そして優しく慈しみあふれるアクティビティを行います。このような互いに関わりあう相互関係性の促進を通し、親が子どもの言動を適切に制御（Regulation）しつつ、愛情、楽しさ、安全性を子どもに伝える事が出来ます。それにより、子どもは安心して（feel secure）繋がりの中で自分自身に価値を感じながら、（他者・世界）と繋がることへの価値をも見出していきます。私たちはこれを「関係性を内界から外界へ築きあげる」

building relationships from the inside out~と呼んでいます。

研修会での帰り道、ずっと二人で熱く語り合っていました。「遊びややり方そのものは誰でもできる、一番大事なのは、子どもや関係性をみる目を持つことが大切」という言葉に深く共感しました。また、セラプレイだけでなく心理面接全般に共通することですが、セッションの中でどうマネジメントするか以前に、セッションを、どこで、誰を対象として、始めるのか、はじめないのか、といったケースマネジメントについてや、親に関わらずに子どもだけを対象にセラピーすることの危険性（環境が変わらないのに子どもとのセッションを重ねることの心理的影響、子どもに関わる時には必ず環境にもアクセスすること）について、よく認識することの重要性についても再確認しました。セラプレイの研修では他職種の先生方もいて、心理の中でもさまざまな理論背景をもつ方がいて、その中で「違いから学ぶ」「己を知る」ことができるのも魅力の一つではないかと思えます。もともと学んでいるプレイセラピーとの共通点や違いの中で、改めて自分の臨床を振り返って理解を深め、整理する機会にもなっています。これからも、気持ちや関係性、全体の布置も含めて見立てる力を育てていきたいと思えます。

研修会での帰り道、ずっと二人で熱く語り合っていました。「遊びややり方そのものは誰でもできる、一番大事なのは、子どもや関係性をみる目を持つことが大切」という言葉に深く共感しました。また、セラプレイだけでなく心理面接全般に共通することですが、セッションの中でどうマネジメントするか以前に、セッションを、どこで、誰を対象として、始めるのか、はじめないのか、といったケースマネジメントについてや、親に関わらずに子どもだけを対象にセラピーすることの危険性（環境が変わらないのに子どもとのセッションを重ねることの心理的影響、子どもに関わる時には必ず環境にもアクセスすること）について、よく認識することの重要性についても再確認しました。セラプレイの研修では他職種の先生方もいて、心理の中でもさまざまな理論背景をもつ方がいて、その中で「違いから学ぶ」「己を知る」ことができるのも魅力の一つではないかと思えます。もともと学んでいるプレイセラピーとの共通点や違いの中で、改めて自分の臨床を振り返って理解を深め、整理する機会にもなっています。これからも、気持ちや関係性、全体の布置も含めて見立てる力を育てていきたいと思えます。



研修受講者の 声 「心と身体のふれあいを大切にし、遊びを通して心理的な側面からも、子どもたちの発達支援をどのようにしていったら良いかを学ぶ良い機会となりました。」 **幼稚園園長**

「感動で胸がいっぱいです。私たちが何気なく行なっている動作に子どもたちが怯えたり傷ついたりしていることを深く反省します。又、知識がなければ反省も出来ないので、学ぶことは本当に大切だと思います。今後も是非教えて頂きたいです。ありがとうございました。」

乳児院職員

「普段子どもたちと関わる中で、発語のない子、自分の気持ちや感情にも気付いていない子に対して、どのようにかかわっていくのか、まずはどのようなことから始めればよいのか、行き詰る部分も多くなりましたが、本日の講義、実践を通して、改めて、安全な環境の中で、“楽しい”と思える成功体験が大切であることを感じました。関わっていく中で、こちらの意図と違った行動に対して、つい制止したりすることが多くありましたが、なぜそのような行動をするのか考えると共に、同調することの大切さを感じました。こちらが“楽しい”ではなく子どもたち自身が、どのようなことに楽しさを感じているのか日々のかかわりの中で、手がかりを得ていきたいと思えます。」

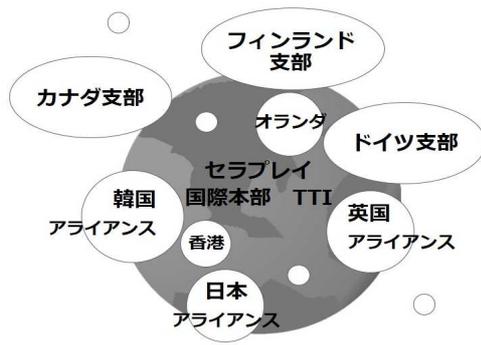
発達支援センター心理士

訓練生の 声 西田智子（レベル1 訓練生） セラプレイとの出会いは、私がアメリカの大学院生時代で、始めはとにかく親子と一緒に遊ぶというセラプレイのアクティビティに魅了され、自分がその当時、主に取り組んでいた家族療法を中心とする臨床の中で、少しずつ使っていくことから始めました。初級講座を受けようと思ったきっかけは、それらのアクティビティを通して見せてくれた子どもと親の楽しそうな笑顔でした。しかし、帰国し実際にセラプレイのスーパービジョンを受けながらセッションを始めると、そのアクティビティはただ単に楽しいだけじゃないんだと気づかされました。そこで学んだことは、アクティビティを通して、子どもが大人に安心して身体を任せ、甘えることができること。子どもにとって信頼できる大人と繋がること。子どもの発している心の声に耳を傾けていくとはどういうことか。自分の無意識的な言動を意識化することが、本当に子どものニーズに応えることに繋がること。そして、いろいろな局面を持ってくる子どもに対して、誠実に受け止める感受性を持つことが大切だとわかりました。私はまだレベル1を取得したところですが、これからセラプレイを通して多くの親子に出会い、一臨床家としてまた人として、もっと多くの事を学びたいと思っています。

訓練生の 声 松岡展世 古積悦子（臨床心理士 訓練生）

研修会での帰り道、ずっと二人で熱く語り合っていました。「遊びややり方そのものは誰でもできる、一番大事なのは、子どもや関係性をみる目を持つことが大切」という言葉に深く共感しました。また、セラプレイだけでなく心理面接全般に共通することですが、セッションの中でどうマネジメントするか以前に、セッションを、どこで、誰を対象として、始めるのか、はじめないのか、といったケースマネジメントについてや、親に関わらずに子どもだけを対象にセラピーすることの危険性（環境が変わらないのに子どもとのセッションを重ねることの心理的影響、子どもに関わる時には必ず環境にもアクセスすること）について、よく認識することの重要性についても再確認しました。セラプレイの研修では他職種の先生方もいて、心理の中でもさまざまな理論背景をもつ方がいて、その中で「違いから学ぶ」「己を知る」ことができるのも魅力の一つではないかと思えます。もともと学んでいるプレイセラピーとの共通点や違いの中で、改めて自分の臨床を振り返って理解を深め、整理する機会にもなっています。これからも、気持ちや関係性、全体の布置も含めて見立てる力を育てていきたいと思えます。

国際本部と協会のしくみ



日本セラプレイ協会＝アライアンスは、国際本部に所属し、支部ではありませんが認定団体です。支部とは、国際本部認定セラピスト及びスーパーバイザー、トレーナーが規定人数在籍する必要があります。フィンランドは20年近くの歴史があり、日本は今始まったばかりです。現在36カ国で実施されているセラプレイに魅了された(?)同僚・仲間たちが着実に増えております。日本の文化の中でセラプレイが本来の力を発揮できるよう本協会も力を合わせてがんばっていきたいと思います。皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。

日本の各チームからのごあいさつ

チームからのごあいさつ

2009年から現在まで、もっと深くセラプレイについて学びたいという初級講座履修者が各地域で集まり、トレーナーの助言を受けながら、勉強会を開催しています。一人で始めることが難しいというのが、今まで初級講座を受講された方のご意見で、このようなチーム制は安心してセラプレイを行うためのシステムです。チームに入らずに行う事ももちろん可能ですが、協会とは必ずつながりながらしていきます。下記以外の地域で、参加したい、勉強会をしたい、あるいは、既に開催されている方などいらっしゃいましたら協会までご連絡ください。

チーム東北

旭ヶ丘幼稚園ではこれまで二度、高井美和先生をお招きして、未就園児教室でのセラプレイや乳幼児教室でのお話会などを実施いたしました。子どもたちも楽しみ、お母さん方も日頃子どものことで気になっていることや悩みなどを相談することができ、とても良いひと時でした。ともすると元気さや素直さを子どもに求めがちになりますが、気後れしていたり、落ち着かない気持ちでいる子どもたちにもその子のテンションに繊細に配慮しながら導いていただいたので、しまいにはみんなが心地良くその場にいるという雰囲気の中で終わることができました。わたくしも子育て相談などでセラプレイの理論に基づいた助言指導をすることができ、とても感謝しています。

(チーム東北 代表：旭ヶ丘幼稚園 園長 早坂 文彦)

チーム関西

チーム関西は、まだまだ少人数ではありますが毎年少しずつ仲間を増やしながらか、みんなでセラピーを学び・行っていくチームを育てています。数名のメンバーが実際にケースを始めており、その際にはセラプレイに関するクッションやアイテムなど様々な準備物をみんなで探しあって来たり、実施予定のアクティビティをロールプレイで練習をしたり、互いの知っている遊びを教え合ったり…と、一緒になってケースを支え合う形がとれるように連絡を取り合っています。

(チーム関西 代表：榊原 久直、西田 智子)

チーム栃木

私たちは、東日本大震災への遊びを通じた心のケアを伝えていく取り組みをきっかけに出会った仲間です。その後、セラプレイを学び、今は皆、セラプレイに魅了されています。大学附属のクリニックやスクールカウンセラー、児童相談所、フリーランスの臨床心理士として働いています。少しずつ、それぞれの臨床の場でセラプレイ的な関わりを通じた個別やグループでの支援を行っています。

最近、さらなるステップアップを目指して、月に一度の勉強会を始めました。地方でセラプレイを学びあうモデルとなるよう続けていきたいと思っています。今後もよろしくお願い致します。

(チーム栃木 代表：岩井 幸祐)

チーム東京

チーム東京では、2年前よりセラプレイカウンセリングセンター東京での個別ケースを行い、スーパービジョンを受け、勉強会をしています。今年度は、各自の現場である福祉施設、教育機関、医療、心理相談機関で、個別及びグループセラプレイの指導を受けながら実践を行う予定です。セラプレイ第三版の講読会(毎月第一金曜日)もセンターで行われます。東京近郊の方で、興味のある方は、センターにご連絡下さい。(チーム東京 代表：土井 信子)

チーム九州

九州では月に一回福岡で集まって勉強会をしています。今までは、主に初級資料を使ったMIMの復習、実際に自分たちでMIMのロールプレイを行い、そのビデオを見返しながら、二者間で何が起きているのかを話し合いました。また、2013年10月には、高井先生を山口県に講師として招き、廣岡が理事をしている障害児の子育て支援センタースタッフ、および臨床心理士を対象とした研修会を行いました。その研修会に参加した親子さんとのセッションも始まっています。これから少しずつ初級研修を受講した仲間が増え、一緒に勉強していける環境が整えばと思っています。

(チーム九州 代表：廣岡 逸樹、川上 真樹)



協会メンバー紹介 (2014年4月)

代表：高井 美和

セラブレイ国際本部認定

セラブレイ 認定セラピスト/スーパーバイザー/ トレーナー

聖心女子大学卒

淑明女子大学 大学院 児童心理療法専攻 博士課程終了

現国際本部認定セラブレイカウンセリングセンター東京所長

顧問：岩井幸祐 (臨床心理士 栃木県北児童相談所)

川畑友二 (児童精神科医 クリニック川畑院長)

原國優子 (健康科学大学 准教授

日本感覚統合療法学会セラピスト インストラクター)

廣岡逸樹 (臨床心理士

子どもの村福岡子ども家庭談室長)

理事：川上真樹 (プレイセラピー セラピスト/ RPTS

スーパーバイザー)

榎原久直 (臨床心理士

大阪大学大学院 日本学術振興会特別 研究員)

西田留子 (カリフォルニア州立大学大学院卒

セラブレイ訓練生 レベル1)

小出真起子 (Saint Mary-of-the Woods Collage 卒

幼稚園教諭/保育士)

委員：久保千晶 (臨床心理士 精神保健福祉士

こどもメンタルクリニック芝)

土井信子 (音楽療法士

NPO 法人昭島ひよこ教室理事長)

藤井絹枝 (音楽療法士 臨床発達心理士

セラブレイ訓練生 レベル1)

星野真由美 (臨床心理士 育英短期大学准教授

セラブレイ訓練生 レベル1)

松岡展世 (臨床心理士 作新学院大学)

監事：渡辺紘子 (聖心女子大学卒)

国際本部：The Theraplay® Institute

アジア本部：Korea Theraplay® Alliance



2014 セラブレイ関連講座

講習会を随時開催しています。詳しくは HP へ

セラピストを目指す方への講座

1月4日 グループSV

2月22日 MIM 勉強会

3月22日 MIM 前/後 観察練習

5月5日-6日 初級講座 前半

5月17日-18日 初級講座 後半

(初級講座を今年も参加したい方はご連絡ください。)

リフレッシュ価格でのご用意もございます。)

幼稚園/保育園などグループの先生むけ講座

3月22日 説明会 (東京 下北沢)

4月27日 勉強会1 (参加人数によって変更あり)

毎月最終日曜日午後 13:00~16:00

セラブレイ第三版 講読会

4月11日 吉祥寺センター 17:00 より

4月~9月まで毎月(7月休) いずれかの金曜日 全5回

10月以降は毎月第一水曜日の予定

秋季セミナー (ウィメンズブラザ東京)

9月6日-7日 (韓国トレーナー招待・川畑先生 予定)

アジア国際会議 (韓国 ソウル駅近く)

7月25日-26日

上記講座など参加希望問い合わせ連絡先

連絡先 センター info@theraplay.jp

セラブレイ 翻訳本の紹介

1987年「セラブレイ 第1版」ミネルヴァ書房 梅原敏郎 監訳

2004年「短期遊戯療法の実践」創元社 申崎真志 監訳

2011年「プレイセラピー14の基本アプローチ」創元社 同上

セラブレイ 第三版の翻訳進行状況

セラブレイ国際本部が出版している本は、現在第三版まで出版されており、本協会では翻訳作業の最終確認が進んでおります。第三版はページ数も多く翻訳本にすると100ページ程になってしまい、単価が高額になり、出版社からの出版は難しいのではないかと、オランダのように1章から6章までを翻訳本として販売すべきかなど、国際本部との話し合いを含め検討中です。現段階では出版の実現には至っておりません。しかし、日本の心理学で使用されている単語や、正確な表現などのチェックを繰り返し行っております。心理分野の出版に詳しい方やアイデアがある方は、協会にご一報いただけますようお願いいたします。

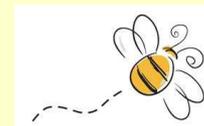
セラブレイの資料について

セラブレイは、毎年進化・発展しております。講読会や、勉強会での第三版翻訳の使用は協会の許可が必要です。現在まで使用していた、初級講座のテキストを含む、セラブレイの単語の統一化を行っております。第三版の出版の為に、協会が管理しセラブレイの資料が日本で役に立つことができる様にと作業を致しております。ご支援・ご協力をお願いいたします。規定の講習会の中で、新たな資料を使用しております。

日本セラプレイ協会設立までの道のり…

- 2008年 東京 「保育園・幼稚園の先生対象 ～セラプレイとは何か～」
(現 韓国セラプレイ協会会長 ユン ミウォン先生来日)
- 2009年 札幌 むぎのこ 「自閉症スペクトラムとセラプレイ」
(シカゴ本部より サンドラ リンダマン先生来日)
- 札幌 むぎのこ福祉保育士対象「母子関係の重要性とセラプレイ的遊び」
(現 セラプレイセンター代表 高井美和)
- 東京 セラプレイ初級講座 第1回 開催(セラプレイ研究会 開催)
(シカゴ本部より サンドラ リンダマン先生来日)
- 札幌 セラプレイ初級講座 第2回 開催(むぎのこ会 開催)
- 2010年 札幌 むぎの子発達クリニック セラプレイ実践(個別・集団)
- 東京 セラプレイ初級講座 第3回開催(日本セラプレイ研究会 開催)
(シカゴ本部より サンドラ リンダマン先生来日)
- 2011年シカゴ セラプレイ国際会議 日本人 6名 参加・高井による発表
- 仙台 旭が丘幼稚園 母子集団セラプレイ 実施 参加60名
- 東京 セラプレイカウンセリングセンター東京 設立
- 2012年 名古屋 セラプレイ 初級講座 第4回(セラプレイ研究会 開催)
(シカゴ本部より サンドラ リンダマン先生来日)
- 東京 セラプレイとは何か・リフレッシュデイ 参加40名
- 福岡 家庭的養育支援ネットワークと心のケア事業 SOS子どもの村福岡
- 名古屋 幼稚園・保育園教師対象 セラプレイ的な子どもの視点
- ソウル セラプレイ アジア国際会議 日本人13人参加 高井による発表
- 東京 ICE 乳幼児 母子グループ
- 東京 小枝会 乳幼児 母子グループ
- ソウル 春季学術大会 日本人 2名学会発表
- 川崎市 父母教育研修事業前期子育てセミナー
- 京都 MIM 講習会
- 東京 MIM 実践・研修会 3日間
- 東京 秋季セミナー 韓国セラプレイ学会会長 招待
- 栃木 母子グループ 実践 -グループセラプレイ 解説 講義
- 東京 寄稿論文 第一号 発表「韓国の子どもとセラプレイの現状」
- 2013年 名古屋 セラプレイ 初級講座 第5回(セラプレイ研究会 開催)
(シカゴ本部より サンドラ リンダマン先生来日)
- 東京 「セラプレイとは何か」
心の子育てを考える会はくはぐ にて「セラプレイの紹介」
児童精神科医 川畑友二先生との座談会
春季セミナー レベル1 4名取得
- 名古屋 初級講座履修者対象 MIM 実践研修会
- 静岡県 被虐待児処遇改善プロジェクト 児童養護施設 恵明学園
- 東京 秋期セミナー 韓国セラプレイ学会会長 招待
「甘え」と「アタッチメント」児童精神科医 川畑友二先生
- 山口 日本臨床心理士会 講師(山口フロンティア大学)
- 東京 社会福祉法人 慈生会 ナザレットの家(乳児院) 職員研修
NPO法人 しらさぎキッズ 講師
セラプレイ 遊びの会
- 2014年 東京 日本セラプレイ協会 NPO法人申請
ライブセッション 観察勉強会
幼稚園・保育園の先生対象 サンシャインサークルの紹介

注：日本でのセラプレイに関する活動は、国際本部認定、及び認定セラプレイセラピストが実施したものを記載しております。全掲載できない点、ご了承下さい。



だいすきがつながっているセラプレイ

ご支援・ご協力をお願いいたします。

NPO法人申請をしております本協会は、活動の理念と目的をご理解の上、ご賛同頂ける多くの会員を募り、ご協力をお願いしております。日本セラプレイ協会設立、および今後の活動に対するご支援をお願い申し上げます。

会員登録していただく方法や、寄付金という形でのご支援も大変ありがたく存じます。会員をご希望の方は詳細をホームページでご覧ください。

年会費(当該年度7月～翌6月有効)

本年度のみ4月～翌6月有効)

正会員 20,000円(積極的に参加・協力をして下さる方)

一般会員 5,000円(当協会に賛同して下さる方)

賛助会員 3,000円(当協会に賛助する方)

「日本セラプレイ協会」

【ゆうちょ銀行で送金の場合】

ゆうちょ銀行 記号: 10180

番号: 95284891

【他銀行よりお振込みの場合】

ゆうちょ銀行 店名:018(ゼロイチハチ)口座番号:
9528489

なお法人設立後の平成26年度年会費のご送金方法につきましては改めてご案内申し上げます。

★ご入金後、必ずご連絡下さい。

ニュースレター次号のお知らせ

次号には、セラプレイのセラピスト 資格に関する情報や訓練に関する事を記事にして参りたいと思います。また、サンシャインサークルの研修が4月～本格的に始まり、5月には日本語での初級講座が開催されます。新しく始まった協会のお知らせを、次回まで楽しみにしててください! 立ち上げに際し、協会にご協力いただける方、ボランティアさんなども募集しておりますので、ご連絡お待ちしております。今後ともセラプレイ協会をお願いいたします。



日本セラプレイ協会 (セラプレイカウンセリングセンター東京センター気付)

住所: 〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町2丁目10-3-302

E-mail: info@theraplay.or.jp TEL/FAX: 0422-21-3899



日本テラプレイ研究会 山森紀美子先生

2009年より、初級講座の主催をはじめ、研修会などのセッティングなど日本でのセラプレイの普及へのご尽力をしてくださいました。先生の熱い想いでこんなにたくさんの方と繋がる事ができました。クリニックの職員の方もスタッフとして毎年ありがとうございました。これからもセラプレイへの先生の「大切にしたい」という想いを受け継いでいきたいと思えます！

